

実施内容

(1)調査の目的

現在の中学校等給食及び全員喫食制移行への意識等の実態を把握し、今後の全員喫食実施に向けた参考資料とする。

(2)調査対象

市立中学校及び義務教育学校後期課程の全生徒2,712人及びその保護者

(3)調査期間

令和6年11月15日(金)～11月25日(月)まで

(4)調査方法

〔生徒〕

Microsoft Formsを使用し、各学校においてタブレットPCで回答

〔保護者〕

Microsoft Formsを使用し、各学校から学校家庭間におけるデジタル連絡ツール「COCOO」により、アドレスを配布し、スマホ等で回答

(5)集計方法

Microsoft Formsを活用し、インターネット上で集計

(6)回答数

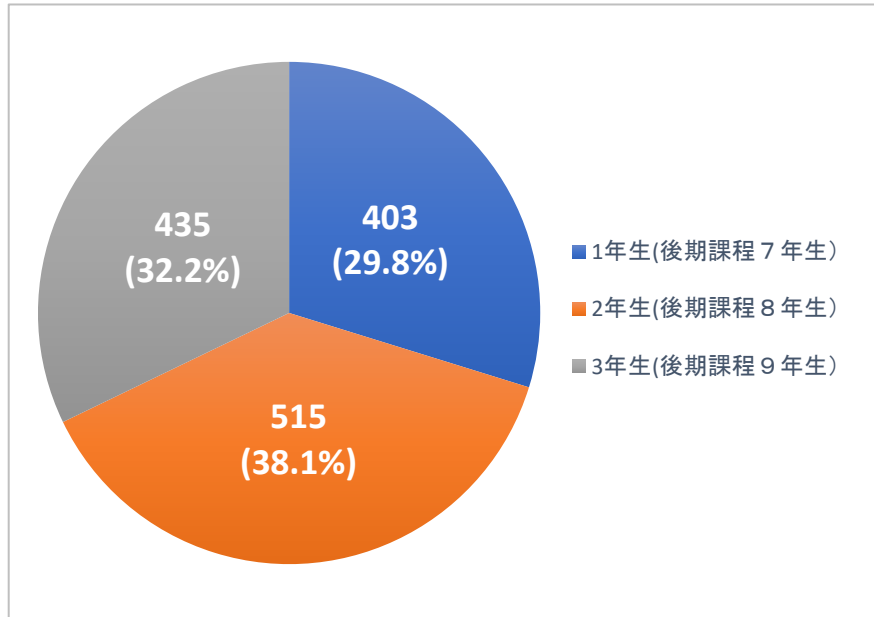
生徒 1,353人 (5月1日時点 生徒人数2,712人 回答率 49.9%)

保護者 919人

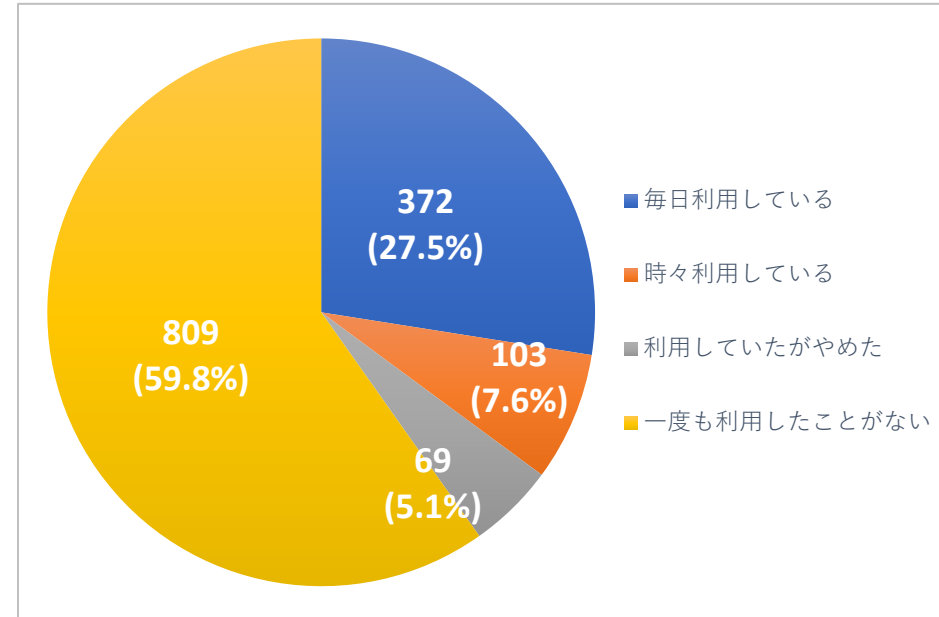
結果の詳細

● 【生徒】

学年別の回答状況



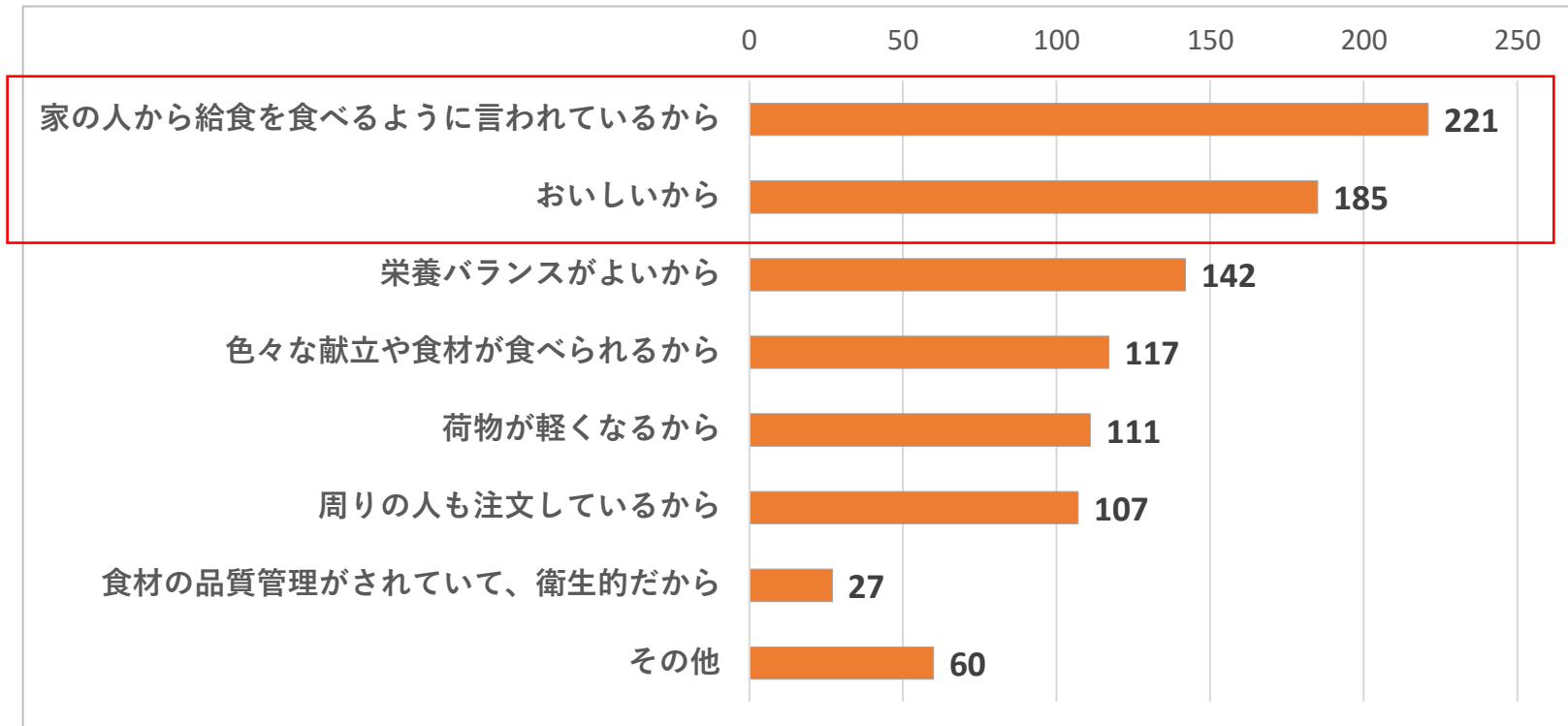
給食の利用状況



結果の詳細

● 【生徒】

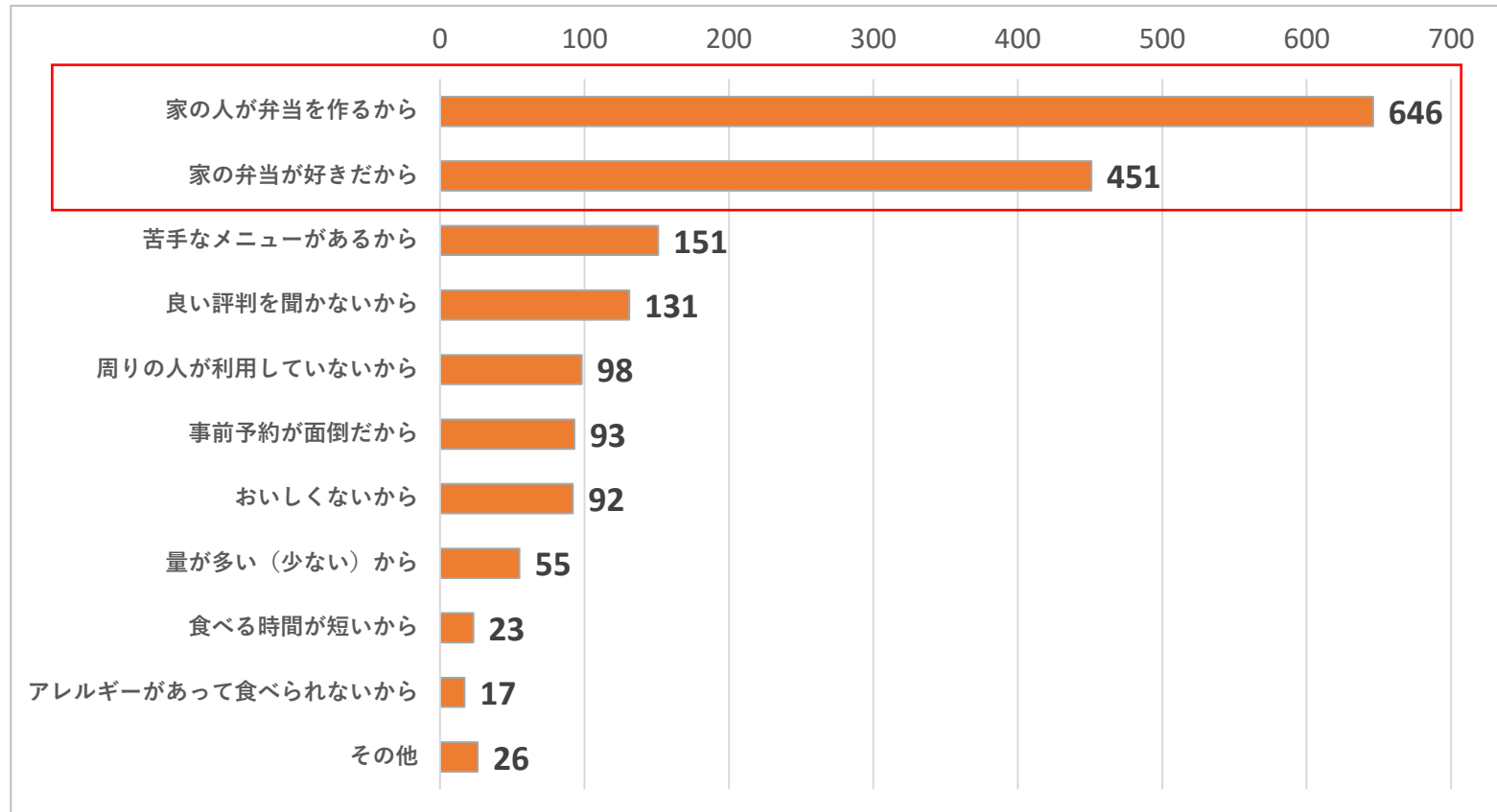
給食を利用する理由



結果の詳細

● 【生徒】

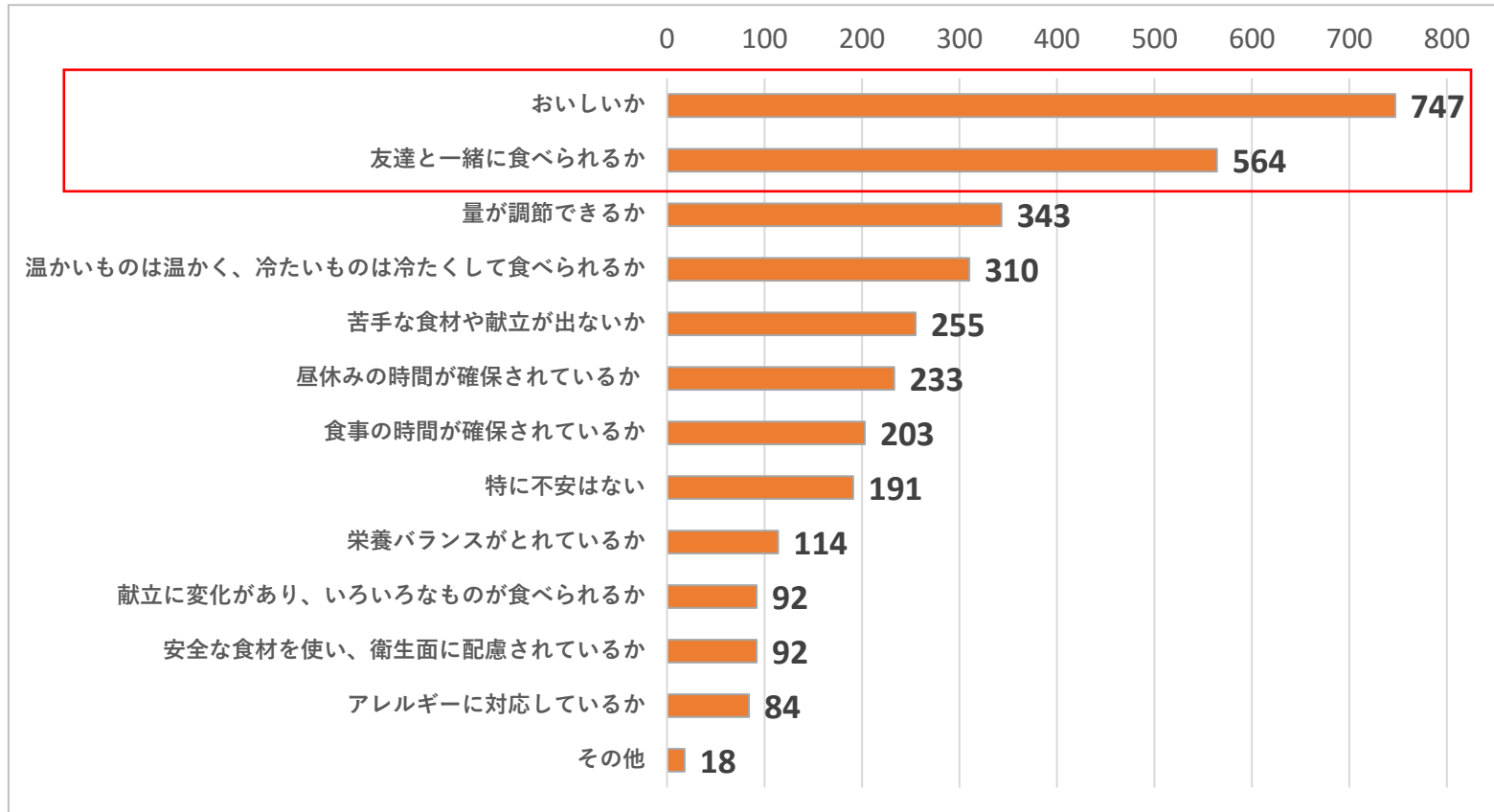
給食を利用しない理由



結果の詳細

● 【生徒】

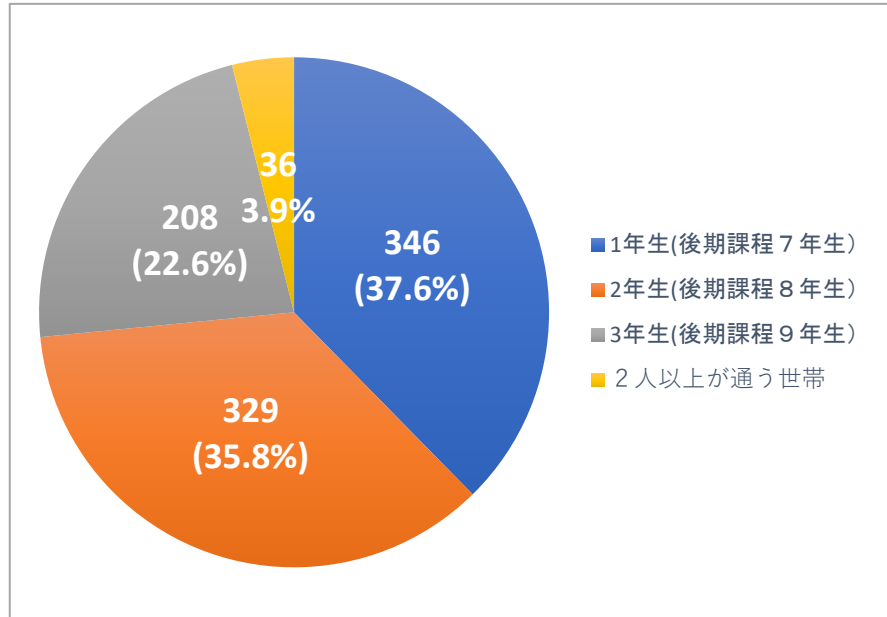
全員喫食制の学校給食の懸念点



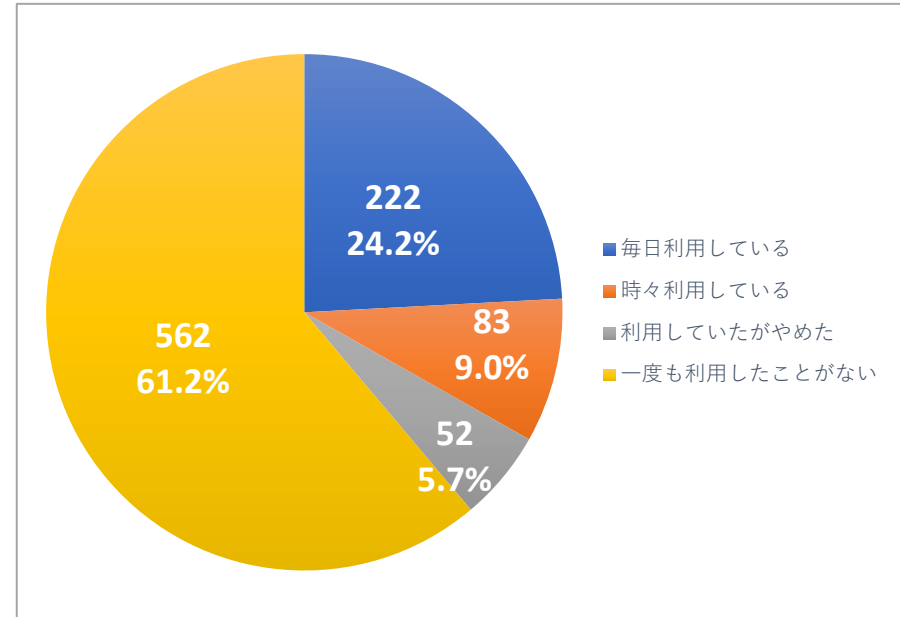
結果の詳細

● 【保護者】

学年別の回答状況



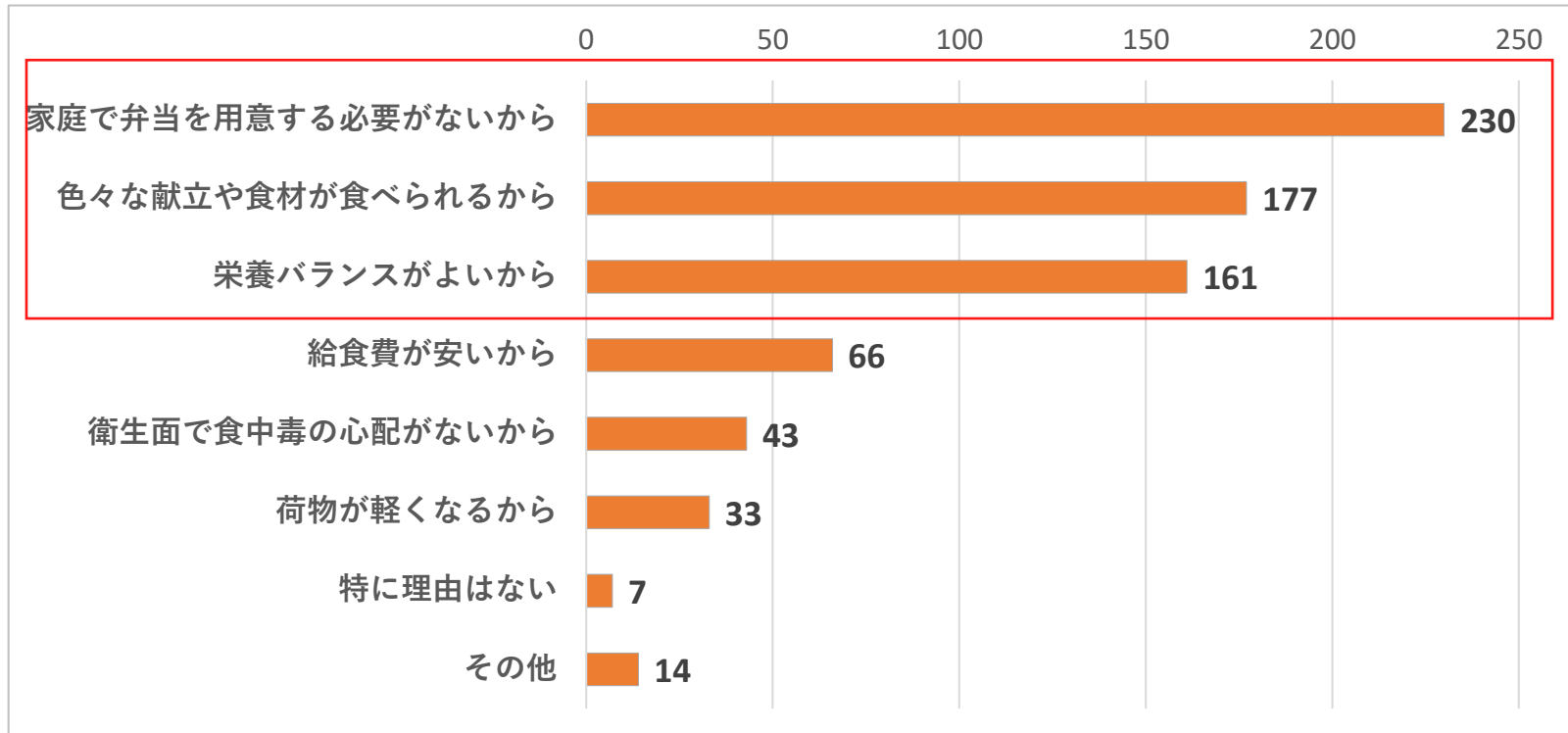
給食の利用状況



結果の詳細

● 【保護者】

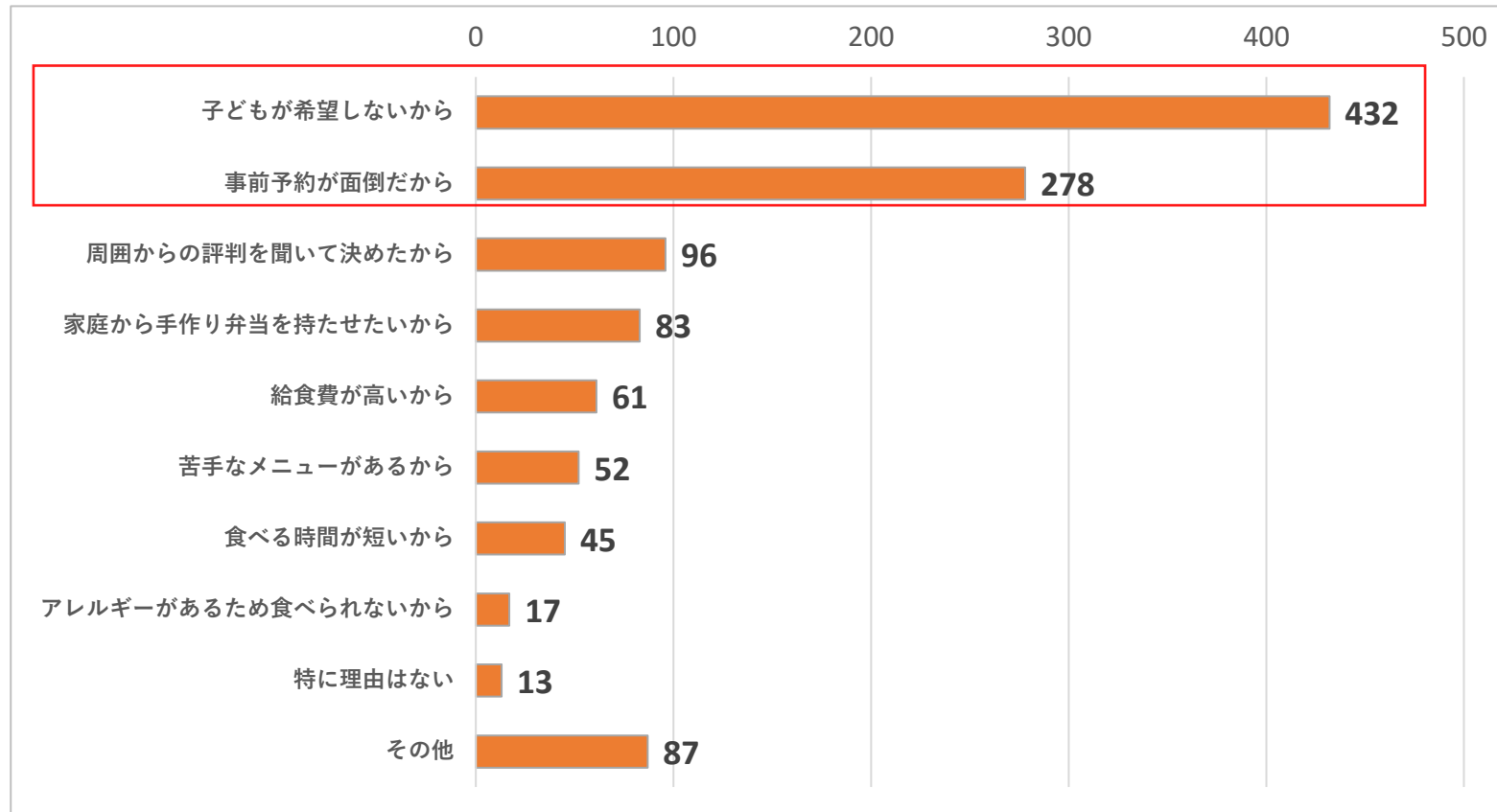
給食を利用する理由



結果の詳細

● 【保護者】

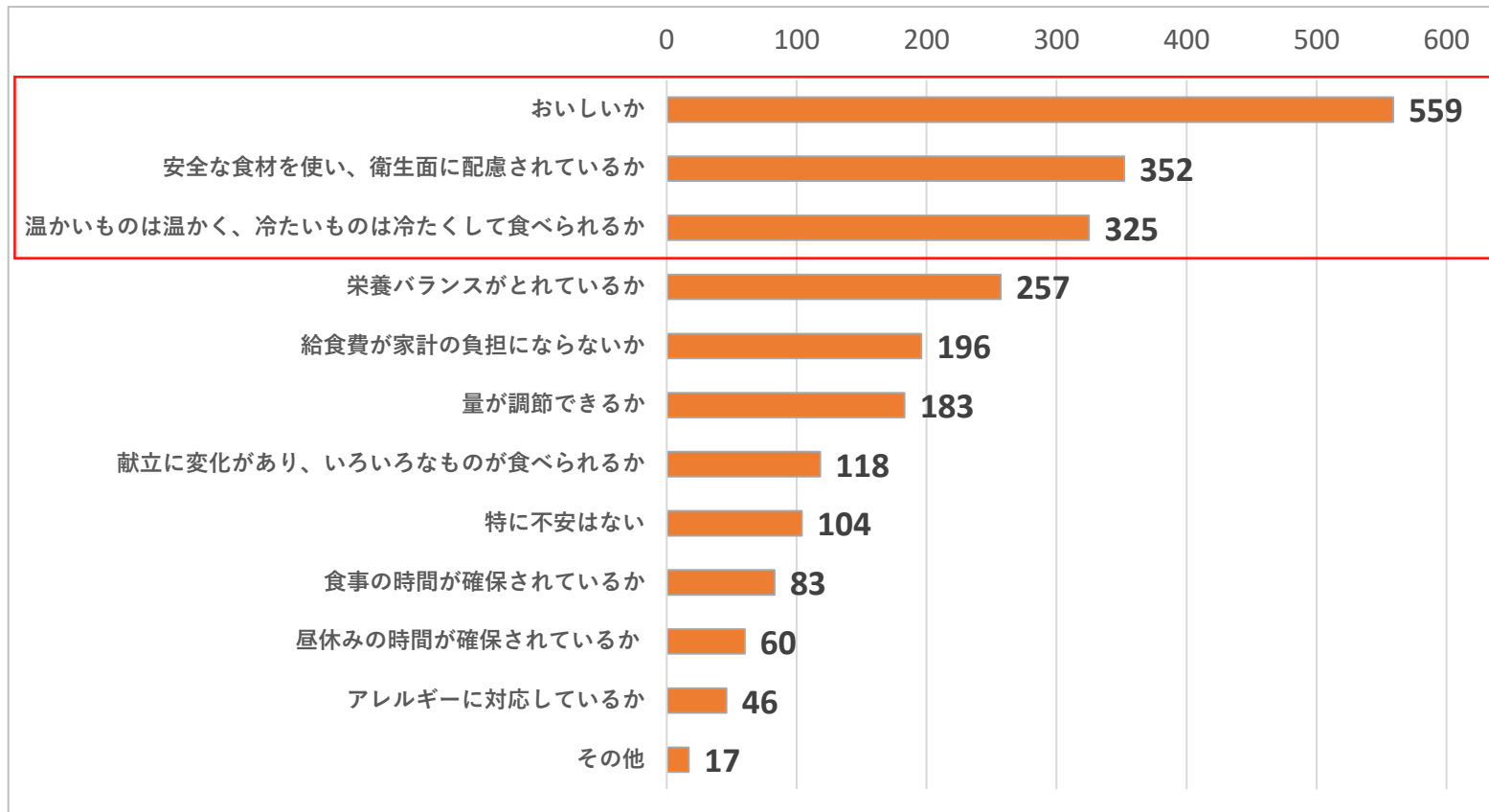
給食を利用しない理由



結果の詳細

● 【保護者】

全員喫食制の学校給食の懸念点



結果の詳細

● 【保護者】

給食を通して学んでほしいこと

